

女性起業課題解決・活躍促進事業【青森県】

個別事業費	215 千円
交付金額	108 千円

地域の実情と課題

女性農業者による起業活動数は横ばい、販売額は増加傾向ではあるが、多くは資金や労働力の不足、高齢化等により新規起業や規模拡大に踏み出せない状況にある。また、法改正等起業活動に必要な知識の習得が不可欠となっている。

このような中、女性起業に対する社会的な注目度と需要の高まりに応じていくために、実態や課題を把握するとともに、課題解決に向けた研修会開催等の支援が必要である。

事業の特徴

起業活動に取り組む個人・団体を対象に、起業活動の内容や実績、事業展開などの調査を実施し、その結果をもとに、女性起業個々の課題を整理し、普及指導員が助言・指導を行った。

また、課題に対応した講座を開催し、女性起業家や、起業を目指す女性に対してフォローアップを行った。

事業の効果

起業活動実態調査結果等を参考に講座の内容を設定したことで、起業活動に関係のある法律や制度を周知できたほか、新商品開発に取り組む女性起業の育成につながった。

特に、改正食品衛生法に関する講座がきっかけとなり、漬物製造業の営業許可取得を目指す女性起業が増加した。

R5実績

- ・新規女性起業活動数 3件
- ・講座等の開催 9回(のべ181名)

目的・目標

活動実態調査(調査対象:令和4年度)において、女性起業数が333件と、前年度より2件増加(新規起業16件、廃業14件)したほか、年間売り上げは60.5億円となり、前年度より5.7億円増加した。

このように、農山漁村の女性による加工、直売、農漁家レストラン等の起業活動は、農林水産物の付加価値向上や地域の活性化につながることから、女性起業家を育成するとともに、起業活動の充実・強化を図る。

R5目標

- ・新規女性起業活動数 5件
- ・講座等の開催 8回

連携団体

青森県内農業協同組合、産地直売施設等

今後の課題

農山漁村地域の高齢化を背景に女性起業数が減少傾向にあるため、引き続き、基礎講座や先進的な取組事例の研修により、若手女性起業家を育成し、技術の継承を促していく必要がある。

また、女性起業家が食を取り巻く法律改正に適切に対応できるよう、サポート体制の強化が求められている。

事業の概要

女性起業の促進に向けた講座の開催や、本格的な起業を目指す農山漁村女性に対し支援することにより、女性農林漁業者の経営力向上を図った。

○活動実態調査

女性起業の実態・課題を把握するため、県内の女性起業家を対象に起業活動実態調査を実施した。

調査項目は経営形態や活動日数、売上金額等の実態のほか、今後の事業展開や事業継承の展望、習得したい知識など。

○基礎講座

軽減税率の導入、食品衛生法、食品表示の改正など食を取り巻く法律や、農産加工に関する知識・技術を習得する基礎講座を各地域県民局で全7回開催した。

○ステップアップ講座

農家民宿や農産加工に取り組む県内外の優良事例の紹介、産直組織の経営力強化に向けた県外講師を招請した講座を中南地域・三八地域で各1回開催した。